

令和

2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	観光イベント事業	会計名称	一般会計				担当課	経済雇用戦略課							
		予算科目	7 款 1 項 4 目	事業番号	3200		所属長名	小笠原幸男							
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名		伊予岡一幸								
法令根拠等	伊予市観光協会事業費補助金交付要綱伊予市花まつり事業費補助金要綱伊予市交流促進観光振興事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】 令和／平成 18 年度 【終了】 令和 年度(予定) ■ 設定なし	【開始】 令和／平成 18 年度								
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 賑わいのある観光の振興						【終了】 令和 年度(予定) ■ 設定なし								
総合計画における本事業の役割	魅力あるイベントや情報発信により、観光客誘致を推進する。														
事業の対象	伊予市観光協会、伊予市花まつり推進委員会、伊予市トライアスロン大会inふたみ実行委員会			事業の目的	観光産業としての重要性を認識しながら、観光施設や観光資源を活用した各種イベントや情報発信を行う。										
事業の内容(整備内容)	観光協会等や市民、関係機関との連携を強化して、観光客のニーズにあったソフト面とハード面を一体化させた事業の展開を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策											

事業活動の内容・成果 (D0)

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		新型コロナウイルス感染症の影響により、観光イベントは実施できず概ね中止となった。JR下灘駅で実施したタ焼けプラットホームコンサートのみ無観客で開催し、観光振興に努めた。									
事務事業の評価	事務責任者（評価）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点	新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となる中、JR下灘駅タ焼けプラットホームコンサートを無観客で開催した。感染症対策としてオンラインライブ配信という新たな手法により魅力を発信することができた。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	2						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の苦労した点・課題	コロナ禍でのイベント開催について内容を精査する必要があるとともに、イベント実施主体である観光協会は脆弱であることから、法人化を行い体制の強化が必要と考える。		
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 施策推進につながっていない。	2						
		効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	2	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 地域資源を活かしたイベントの開催は、交流人口の増加、地域の活性化等に必要不可欠であるため、事業継続と判断する。		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3				イベントの開催は観光協会にとって大きな負担となつていることから、本来の目的である魅力の発信、観光振興策の検討等に注力するためにも、地域団体や関係機関で構成する実行委員会が自らの力で企画・運営できるよう実施体制の見直しを行なうべきである。		

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 観光イベントの情報発信や効果発現の分析、地域住民の協働への理解やおもてなし精神の醸成に寄与できる効果的な方策を検討すること。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方針性	コメント欄
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	